

# Sport Policy for Japan2017

## 第1回運営会議

2017年6月17日(土) 14:00~16:00

# 本日の流れ

1. Sport Policy for Japan2017 概要説明
  - ①研究活動・審査について
  - ②大会運営について

(休憩)
2. 前回大会 代表幹事 挨拶
3. 質疑応答
4. 代表幹事・副代表幹事の選出、  
担当業務の決定

# 笹川スポーツ財団とは

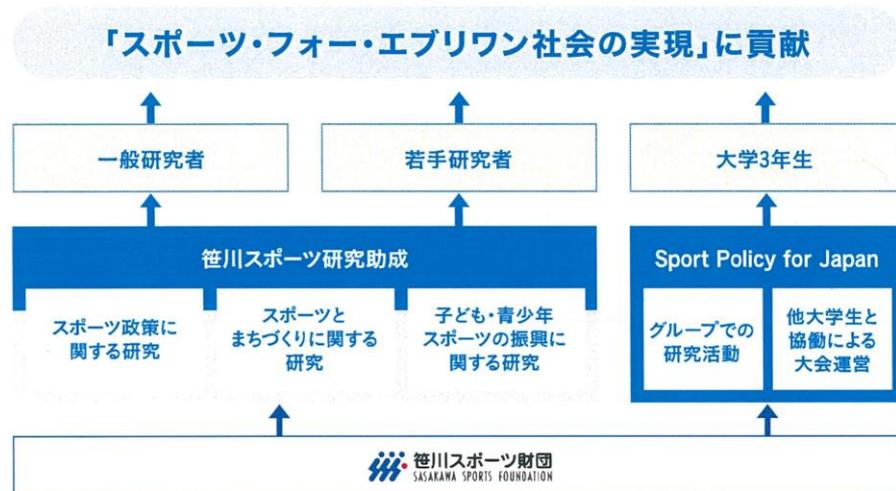
## 未来に夢を描き 行動するシンクタンクへ

一人ひとりの国民が生涯を通じて  
それぞれが望むかたちでスポーツを楽しみ  
幸福を感じられる社会

スポーツ・フォー・エブリワン  
社会の実現を目指して

SPORT FOR  
every  
one

### <Sport Policy for Japan事業>



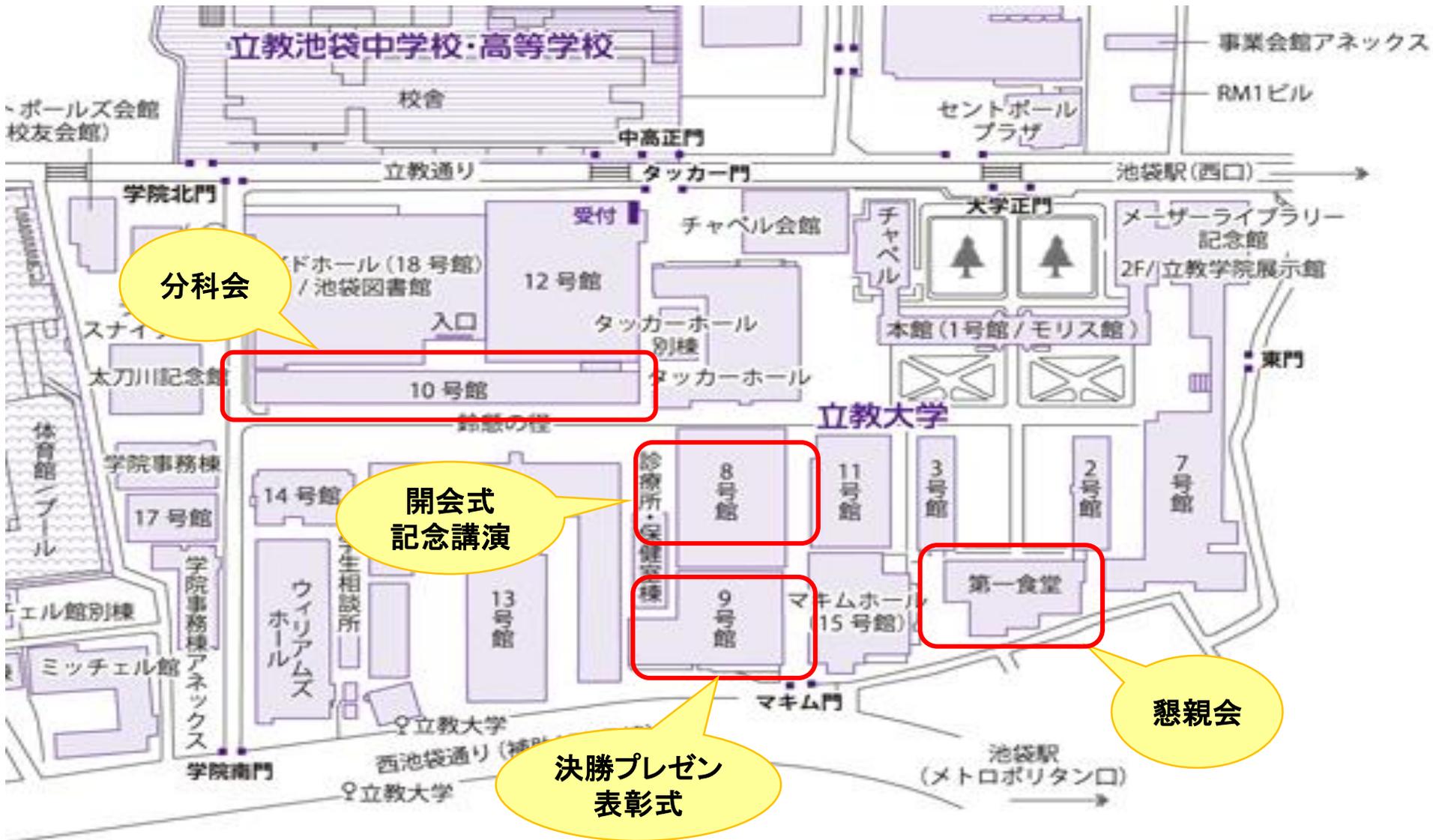
# Sport Policy for Japanとは

- ・ **日本のスポーツの現状や将来について問題意識を持つ大学3年生が、政策提言を持ち寄り、意見を交換し発表する場です。**
- ・ **参加学生の皆様には、研究と平行して、会の企画・運営を行っていただきます。**

**大会：2017年10月21日（土）～22日（日）**

**会場：立教大学 池袋キャンパス**

# 会場 立教大学 池袋キャンパス

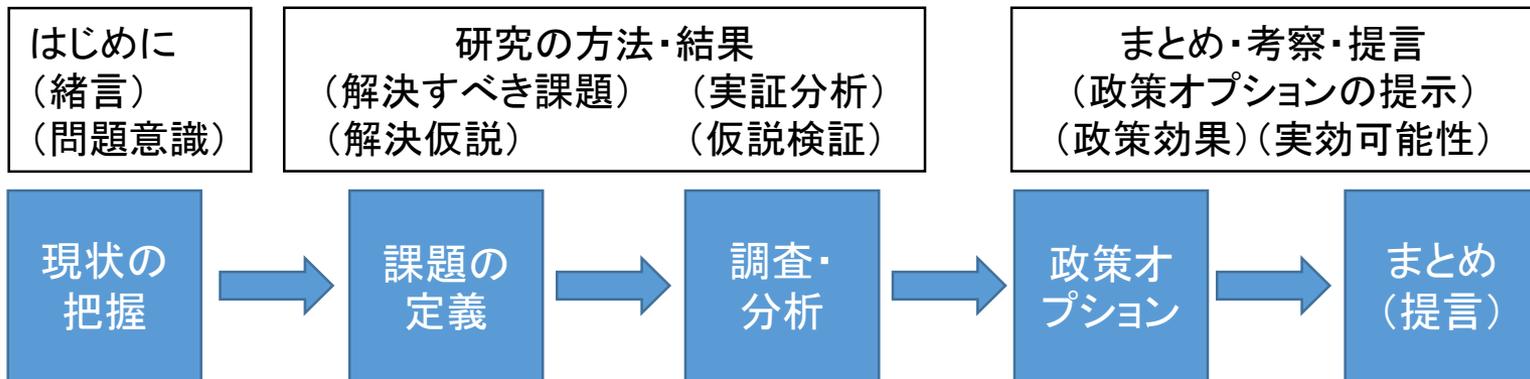


# ① 研究活動・審査について

皆さんにご提出いただくもの

- ・ 提言要旨（A4 4枚）
- ・ 発表用スライド

# 提言要旨の構成



# 研究活動をとおして皆さんに 身につけてほしいもの

## What

### 1. 課題をしっかりと見つけてほしい

- 「ネットを見た。誰かが言った。どっかで読んだ」問題を引いてるだけや、やりたいことから課題を探していないか？・・・それではダメ
- それは、社会で共有されるべき問題？・・・個人的な興味だけでもダメ

## Why

### 2. 問題を引き起こしている原因はなにか、を追究する

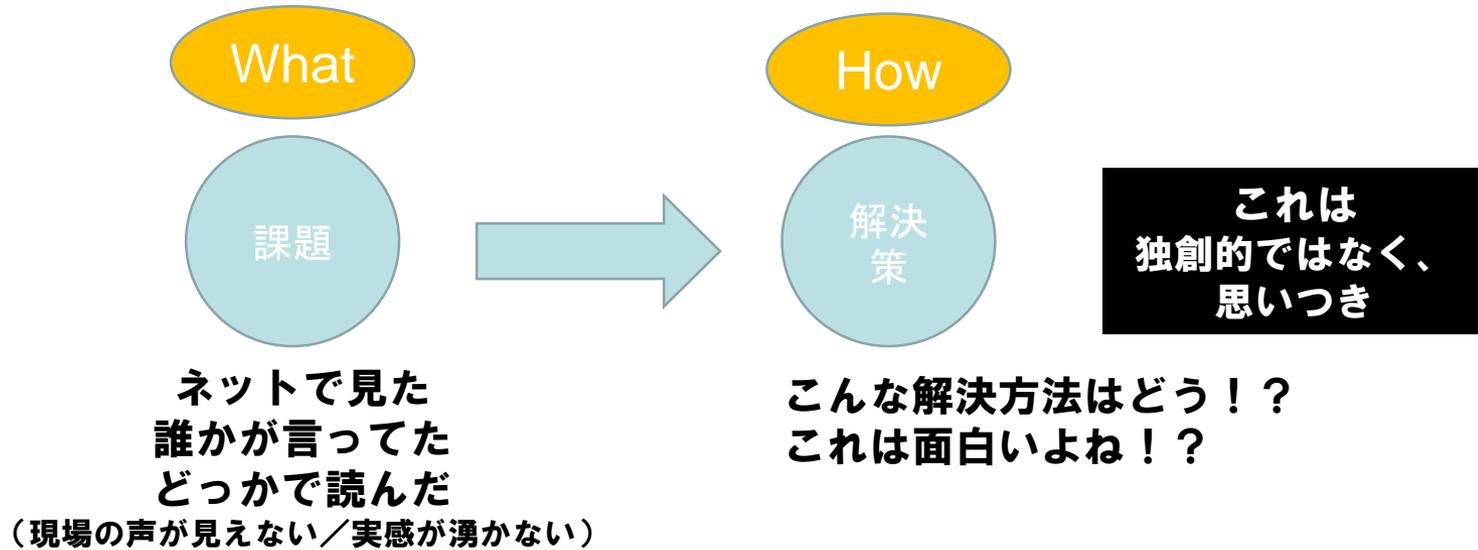
- この課題の本質は何か？ なぜそうなっているのか？の思考を繰り返す
- チームみんなで、「なぜ」「なぜ」・・・をやってみる
- 現場の声を聴く。ネットで調べただけではダメ

## How

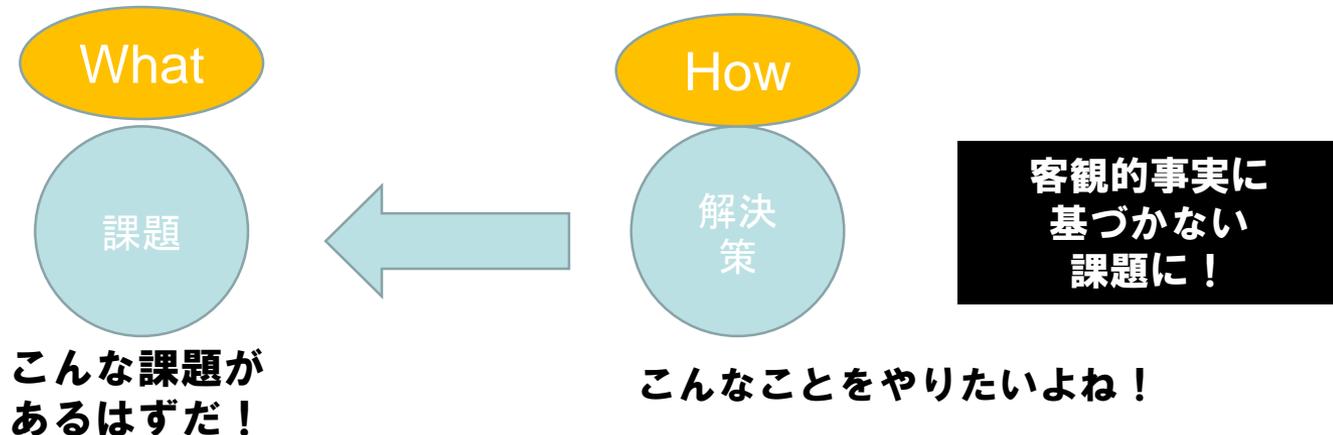
### 3. 具体的な解決策を提案してほしい

- みんなが考えぬいた提案は、聞く人がイメージできるように、自分たちの言葉で、具体的なものに
- 自分たちの都合を押し売りする独りよがりなものにならないように

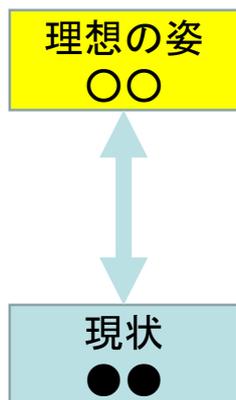
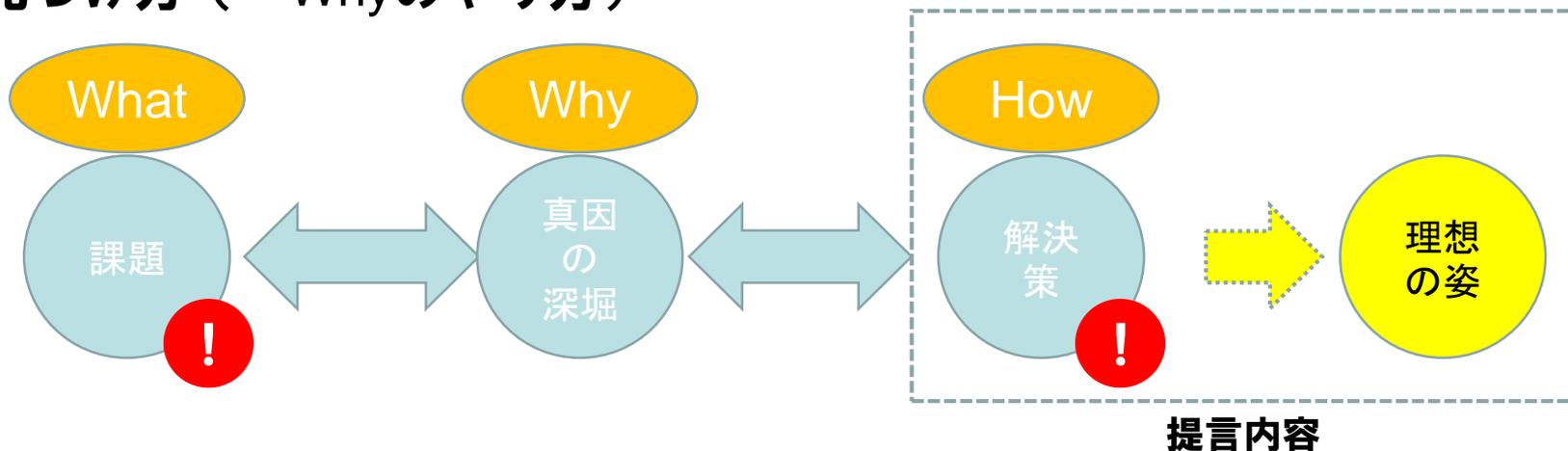
## 陥りやすいパターン① Whyの欠如



## 陥りやすいパターン② 解決策から課題を見つける



## 課題の見つけ方 (=Whyのやり方)



本来は○○であるべきなのに、現状は●●だ。

この理想と現実のギャップ (=◇◇) が問題だ。

◇◇はなぜ起きているのか？→それは□□だからだ

□□はなぜ？→それは△△だから

(と、原因を深掘りしていく)

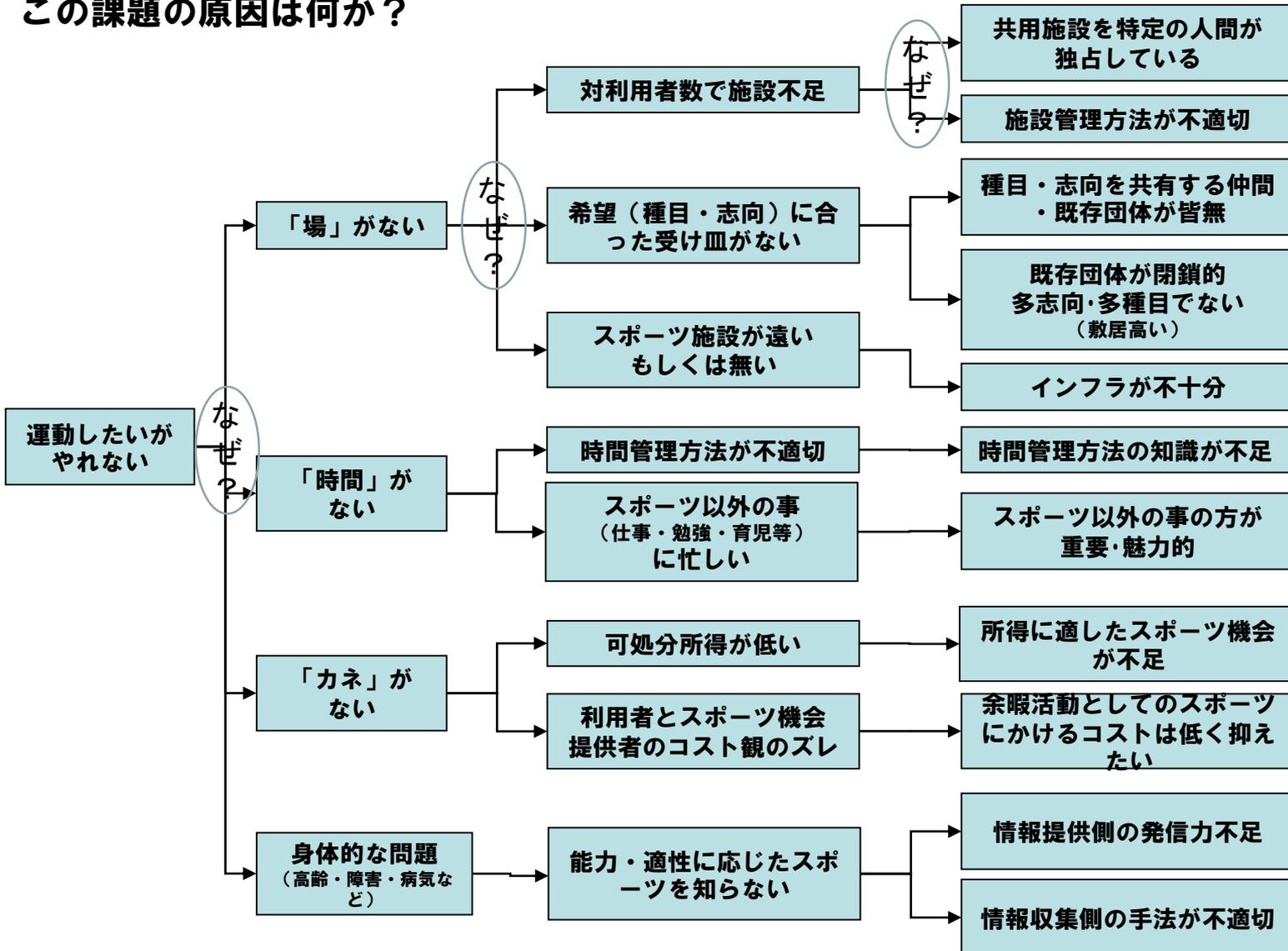
◇◇はなぜ問題なのか？→◆◆の弊害があるから

◆◆はどれだけ深刻なのか？→■ ■に影響があるから

(と、深刻さを深掘りしていく)

なぜ？なぜ？を繰り返し、最も解決すべき課題を見つける！

【例】  
「スポーツをしたい」という希望には、なるべく応えられる環境をつくりたい。  
しかし、「スポーツをしたいのにやれていない人」が4割もいる。  
この課題の原因は何か？



じゃあ、  
ここを  
こうして  
みよう！

じゃあ、  
ここを  
こうして  
みよう！

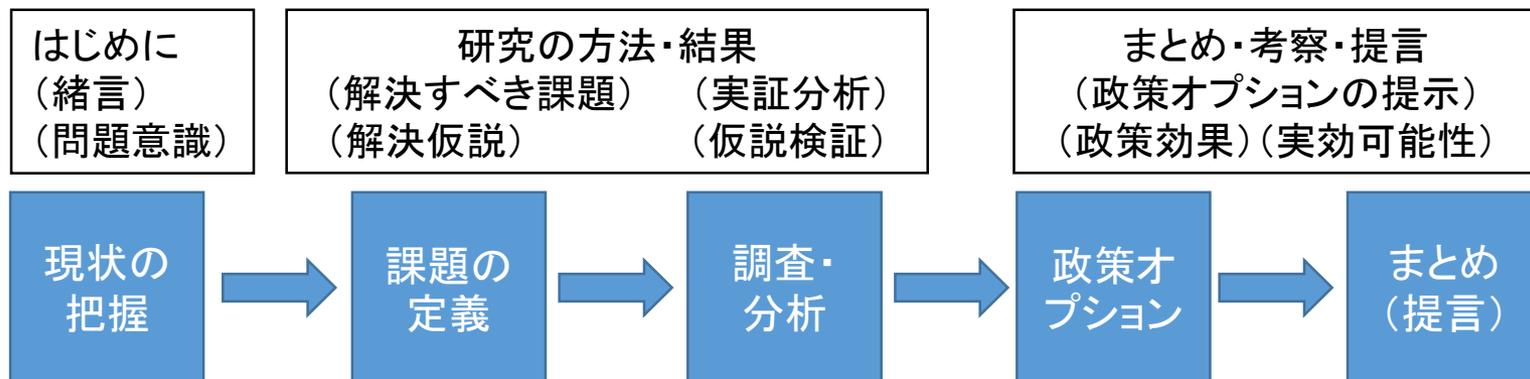
じゃあ、  
ここを  
こうして  
みよう！

じゃあ、  
ここを  
こうして  
みよう！

# 発表について

**発表時間 18分**  
**質疑応答 7分**

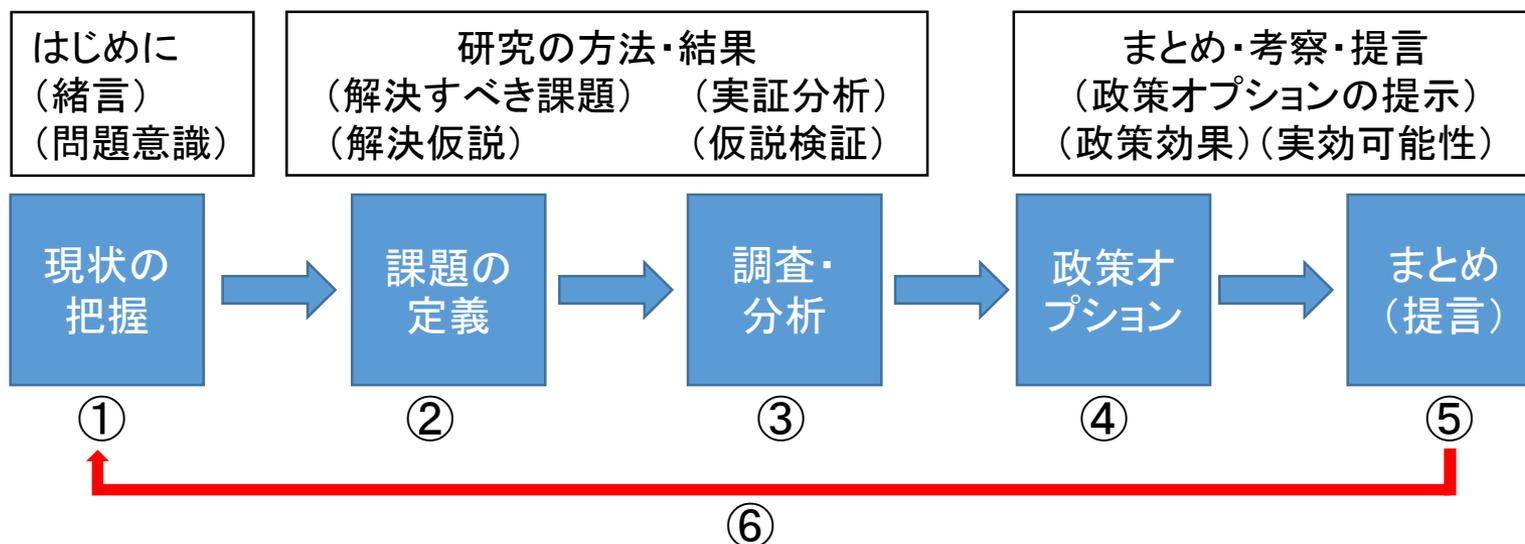
## 発表資料の構成例



# 審査のポイント



Sport Policy for Japan



## 【審査基準】

- ① 現状を十分に把握した上で問題意識が形成されているか
- ② 課題は、スポーツにかかわる社会課題を捉えられているか  
一個人や一組織の問題／興味・関心にとどまてはいないか
- ③ 定義した課題に照らして適切な、あるいは解決仮説を検証するために必要な、調査及び実証分析が行われているか
- ④ 調査・研究の結果から、有効な政策オプションが導き出されているか
- ⑤ 課題抽出から提言(提案)にいたるまでストーリーラインに矛盾や飛躍がないか
- ⑥ 個別事象の課題解決のみならず、普遍化や横展開の可能性が見られるか

# 審査体制について

**提言要旨審査員は、要旨1本に対し3名体制**

**口頭発表審査員は、各分科会場 2名体制**

# 分科会のグループ分け

提言要旨の審査結果により、口頭発表のグループ分けを行う

あ	い	う	え	お	か
1位	2位	3位	4位	5位	6位
12位	11位	10位	9位	8位	7位
13位～60位は、ランダムにグループ分け					

注：「あ～か」が「分科会場A～F」ではない

# 決勝プレゼン進出チーム

提言要旨と口頭発表の審査結果の合計点で、各グループ1位のチームが決勝プレゼンへ進出

あ	い	う	え	お	か
1位	2位	3位	4位	5位	6位
12位	11位	10位	9位	8位	7位

# 表彰について



## 最優秀賞・優秀賞

決勝プレゼンに進出したチームから選出  
最優秀賞チーム・・・トロフィー、賞状、副賞  
優秀賞チーム・・・トロフィー、賞状

## 分科会賞（予定／該当チーム無しもあり）

各分科会で、決勝プレゼンに進出しなかった  
チームの中から選出  
賞状を贈呈



# 当日のスケジュール



Sport Policy for Japan

1日目		教室
10:30-11:00	受付	
11:00-11:20	開会式	8号館
11:30-12:00	基調講演	8号館
12:00-13:00	昼食	
13:00-13:25	1組目	分科会場 10号館
13:35-14:00	2組目	分科会場 10号館
14:10-14:35	3組目	分科会場 10号館
14:45-15:10	4組目	分科会場 10号館
15:10-15:30	休憩	
15:30-15:55	5組目	分科会場 10号館
16:05-16:30	6組目	分科会場 10号館
16:40-17:05	7組目	分科会場 10号館
17:15-17:40	8組目	分科会場 10号館
17:50-18:15	9組目	分科会場 10号館
18:25-18:50	10組目	分科会場 10号館
19:30-20:30	懇親会	第1食堂

2日目		教室
10:00-10:05	決勝プレゼン 進出チーム発表	9号館
10:30-10:55	決勝①	9号館
11:05-11:30	決勝②	9号館
11:40-12:05	決勝③	9号館
12:05-13:05	昼食	
13:05-13:10	決勝プレゼン 進出チーム発表	9号館
13:30-13:55	決勝④	9号館
14:05-14:30	決勝⑤	9号館
14:40-15:05	決勝⑥	9号館
15:25-15:50	審査会	
16:00-16:30	表彰式	9号館

# 提出物について①

- **研究要旨（A4 4枚）**

**→ 提出締切**

**9月28日（木）お昼12：00まで**

**メールで提出（spj@ssf.or.jp）**



## 提出物について②



- **当日発表用スライド**  
→ **10月19日（木）の12：00までに、**  
**pdfデータ提出**

# 勉強会の開催

## 「政策のつくり方」



**日時：6月27日（火）18：00～20：00**

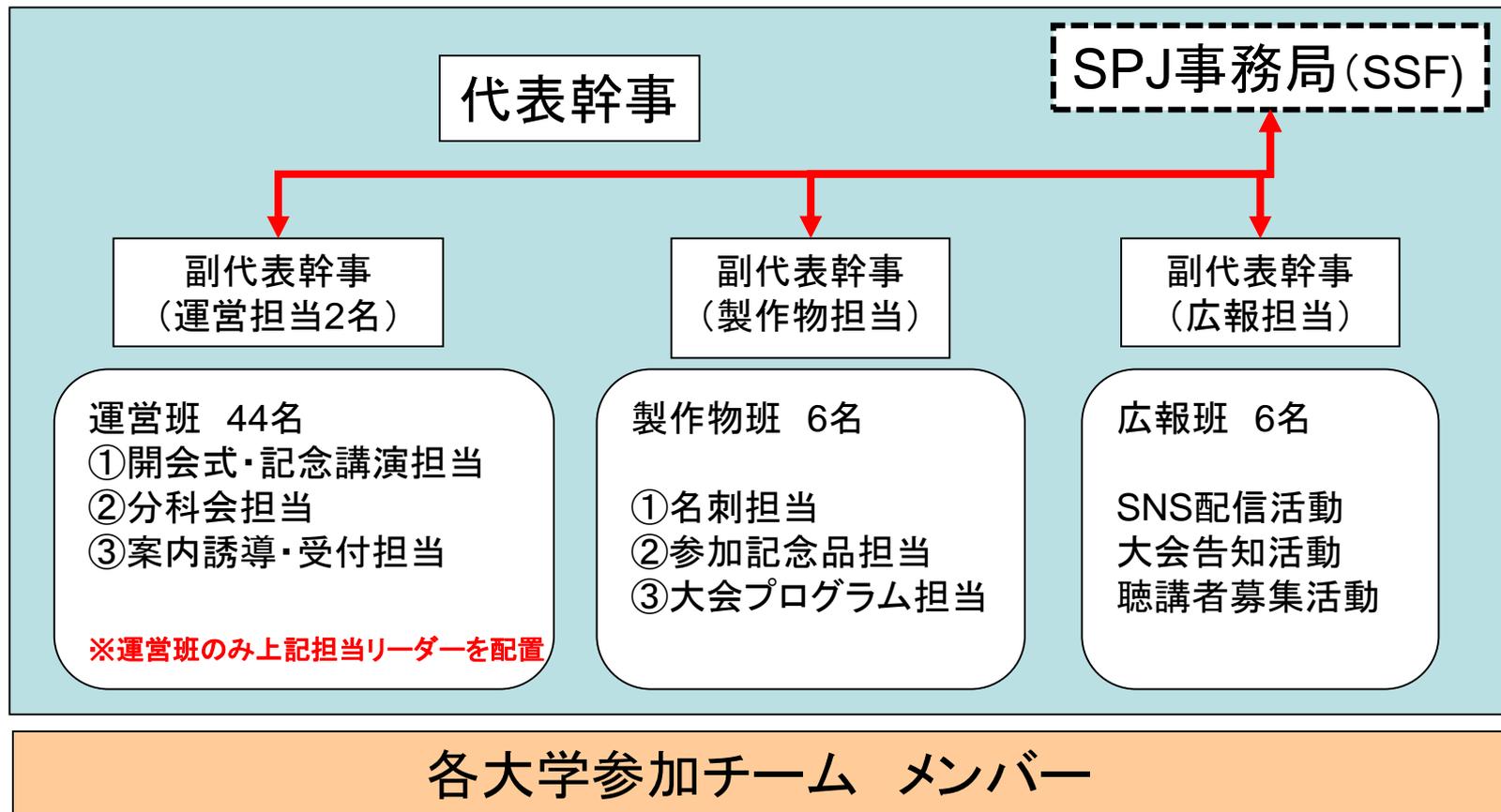
**場所：日本財団 会議室AB**

**講師：熊谷 哲 笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所  
主席研究員**

## ② Sport Policy for Japanの運営について

メーリングリスト アドレス [spj2017-ml@ssf.or.jp](mailto:spj2017-ml@ssf.or.jp)

幹事会（61名） 各参加チーム代表者で構成



# 皆さんが担当する業務

## 【運営班】

### ①開会式・基調講演担当

→運営準備、配置、マニュアル・台本作り、当日の運営

### ②分科会担当

→運営準備、配置、マニュアル作り、機材確認、当日の運営

### ③案内誘導・受付担当

→配置、マニュアル作り、当日の運営

## 【製作物班】

- ・参加記念品、大会プログラムの作成（編集・発注）
- ・名刺作成（データの整理・発注）

## 【広報班】

- ・マスコミへの大会告知活動、聴講者募集活動

※事務局のサポート・・・会場の手配、開催・準備費用の負担など

# 製作物について



Sport Policy for Japan

	概要	納期
名刺	幹事会メンバー用。50枚印刷 氏名・大学名・連絡先（携帯電話・メールアドレス）	8月初旬
参加賞	Sport Policy for Japan2017 参加学生に配布。 単価400円×350個 去年はタンブラー（大会名入り）	大会開催の 2週間前頃 （10月6日）
大会プログラム	参加学生、聴講者等に配布。 350部印刷 タイムスケジュールや基調講演者 紹介などを掲載	大会開催の 3日前頃 （10月18日）
研究抄録集 （事務局）	参加チームの提言要旨をまとめる。 350部印刷	大会開催の 3日間前 （10月18日）

# 情報の内部共有と外部発信について

## ■内部情報共有（幹事会⇔SPJ事務局）

- ・ Googleドライブ SPJフォルダを活用  
アカウント：[spjkanjikai@gmail.com](mailto:spjkanjikai@gmail.com)  
パスワード：spjstaff2017
- ・ 担当グループ内の情報共有は、メールやLINE等で行う
- ・ 打合せをしたら、議事録を作ってGoogleドライブにUP

## ■情報発信について

Facebook「Sport Policy for Japan」ページ・twitterで行う。  
広報班に書き込み権限を提供します。  
広報班で運用をお願いします。

# 今後のスケジュール



Sport Policy for Japan

	7月	(8月)	9月	10月	11月
研究活動	勉強会 (政策講座) (6/27)		研究要旨 提出 (9/28)	分科会 グループ分け 発表 (10/13) 発表PPT提出 (10/19)	参加者 アンケート (11月下旬)
幹事会	第2回 運営会議 (7月下旬)		第3回 運営会議 (9月下旬)	第4回 運営会議 (10月中旬)	第5回 運営会議 (11月下旬)
運営班	運営方法・役割協議		運営準備・会場下見		本番 10月 21日 ~ 22日
	マニュアル編集				
製作物班	製作物・デザイン検討・決定		参加賞製作(10/6納品)		
	名刺データ収集・印刷		プログラム製作(10/18納品)		
広報班	役割分担検討・決定				
	広報計画検討・決定		広報活動		